

若者の未来を変える

南那珂支会代表 平野 佑真

「若者が政治に興味を持たない」。皆さんはよくそう言います。しかし私はそうではないと思います。「若者が政治に興味を持たない」、こちらが正しいと思っています。若者が政治に興味を持たていないのは世代別投票率を見れば一目瞭然です。二十代の投票率を見ると私達の親の世代が20代だった平成2年の投票率が57.76%だったのに対して、令和3年は36.50%まで落ち込んでしまっています。なぜ若者は政治に興味を持たないのか。私は若者が政治に興味を持たない理由は主に2つあると思います。

1つ目は教育機関における政治についての教育が行き届いていないという点です。中学校では「公民」、高校では「政治・経済」という分野がありますが、中学から政治についてくわしく学び始めるというのでは遅いと思います。基礎的な事を幼い頃から学んでいなければ大きくなって専門家が言っていることをすぐに理解するのはとても難しいと私自身も感じています。小学校から「社会」という科目で政治について学ぶかもしれませんが、政治の基礎的なことをすべて学べるほどのカリキュラムにはなっていません。なぜ政治の教育に力を入れなければいけないのか。それは2つ目の理由である若者のテレビ離れに原因があると思います。

最近の若者はテレビを見るのが減り、インターネットやSNSを利用する割合が増えています。昔は家庭などで家にいるとき、常にテレビが付いていて、そのなかでニュースが流れていることで、小さな子どもでも、様々なニュースにふれる機会が多くありました。しかし最近ではスマートフォンやパソコンなどの機器が普及し、You Tube やNetflix などの動画配信サービスやゲーム、SNSがあるためそちらの方に興味が行ってしまい、限定されたものだけを見てしまいます。

私は東京都出身ですが、友達のほとんどはバイトをしています。ゴールデンタイムである19～22時には家にいません。そのため、その間にテレビで放送されているニュースは見られません。インターネットの利用、SNSの利用、バイトを行うこと、この3つがテレビの視聴率低下に結びついているのだと思います。

テレビを見ずにSNSを利用する人が増える中で、懸念されるのは、若者にとって興味のあるものばかり表示され興味のないものは表示されないというSNSの特徴です。私はサッカーをしていてYou Tubeでサッカーの動画をよく見ますが自分のスマートフォンのYou Tubeはサッカーの動画ばかりで他の動画はほとんど出てきません。ニュースの動画を作ったとしても、若者のSNSに流れてこない、すなわちSNSを活用しきれていない、その結果、興味を持ってないということになります。

ではどうすればこのようなことが改善できるのでしょうか。

1つ目は小学生から政治について学校で学ぶこと。教育の一つとして政治分野を取り入れるべきだと考えます。2つ目はSNSを活用して政治メディアを発信していくこと。私はSNSを使い若者に政治メディアを発信し政治について興味を持ってもらい、そして選挙で投票してもらい若者の意見を政府に訴えていく、そんな社会にしたいです。そのためにはSNSで政治に関するものを興味ありなしに関係なく政治に関する情報として全ユーザーに表示し続ける仕組みにすること。そうすればSNSを開けば政治に関するものが目に入ってくるためそれを見る、その結果政治に興味を持てるようになるのではないのでしょうか。

選挙に参加しない、それは私たち若者のための政策を政府が取ってくれないということ。それは将来、20年後、30年後に私たち若者が不利になっているという可能性、政府が好き勝手な政策を取ってしまう可能性を否定できないということ。その可能性を無くすためには私達若者が政治に興味を持って選挙を通じて政府に訴えていかなければなりません。明るい未来を作っていくためにはひとりひとりの言動、行動が鍵になっていく、たった一人ではなくその一人がとても重要だということを伝えていきたいです。